

地盤調査報告書

ケイアイスター不動産 株式会社

KIS八王子市台町1-6

2021年 12月

株式会社 GIR

INDEX

■地盤報告書

■1.調査概要

■2.調査方法

■3.調査結果

- ・チェックリスト
- ・調査位置図
- ・スクリーウエイト貫入試験結果
- ・推定断面図

■4.調査写真

地盤報告書

物件番号 G2021-002-06006

物件名称 KIS八王子市台町1-6

物件住所 東京都八王子市台町二丁目84番13 外

ビルダー様名称 ケイアイスター不動産 株式会社

調査方法 スクリューウエイト貫入試験(JIS A 1221)

調査日 2021年 12月 16日

計画建物 木造2階建

基礎形状 ベタ基礎

設計荷重度※1 20kN/m²

基礎底面深度 GL-0.5m

備考

※1 指定がない場合、木造2階建:20kN/m²、木造3階建:30kN/m²等にて検討いたします。



株式会社 GIR

東京都江東区木場1-5-25 深川ギャザリア 3F 301号室

TEL 03-5665-0955 FAX 03-5606-7707



判定責任者 宇都 司

資格番号 調主技士 第20200335号

調査者 秋山 大成

資格番号

(☐指定あり ☒指定なしのため仮定)

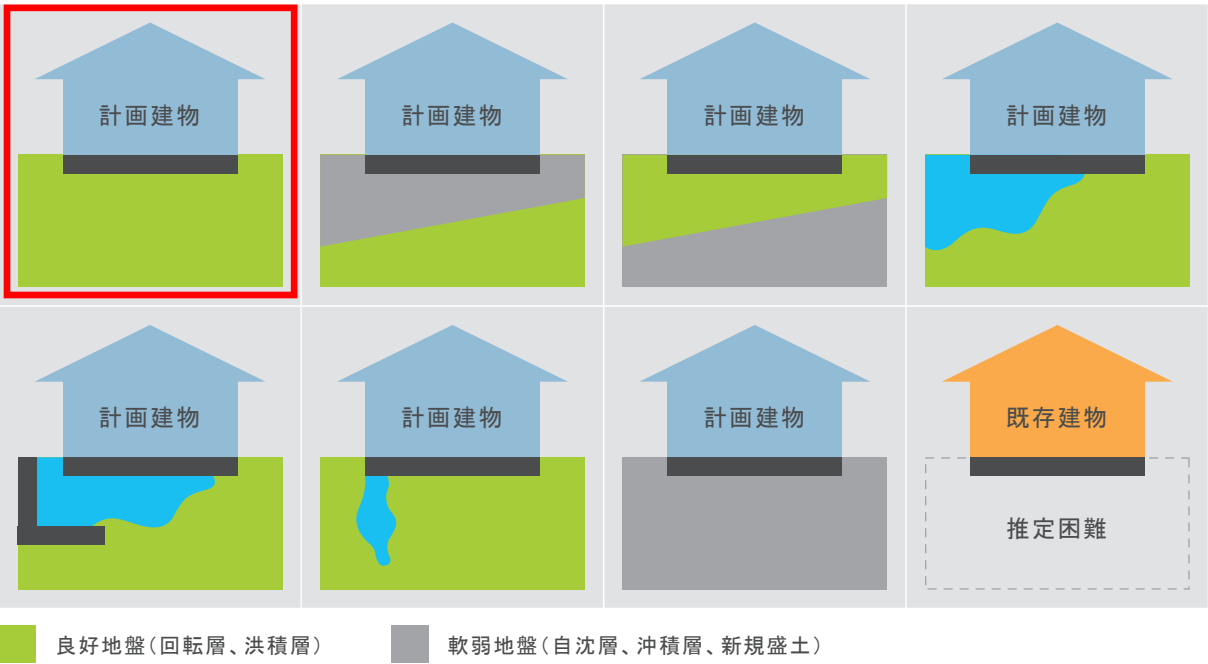
(☐指定あり ☒指定なしのため仮定)

地盤評価のポイント

資料調査	地形区分	台地
	敷地履歴	既成宅地
現地調査	既存盛土の有無及び経過年数	盛土あり:
	新規盛土の計画	無し
	既存擁壁の有無	無し
	新規擁壁の計画	無し
原位置試験	長期許容支持力度	34.2kN/m ² (測点5)
	推定水位	無し
	沈下・変形の可能性がある地層分布	なし
	軟弱層厚、深度のバランス	良
	有機質土、腐植土、ガラ等の埋め戻し	少ない

地盤報告書

■ 調査地の地盤状況



■ 地盤評価

計画基礎に対する地盤判定	地盤改良不要
--------------	--------

■ 地盤補強に対する適用方法

(施工条件、行政指導により適用できない工法もありますので、ご確認下さい。)

適用	工法種類	良好層分布深度の目安				工法例
		GL-2m	GL-5m	GL-13m	良好層なし	
	面的地盤補強工法	○				
		○	○	○	○	
	杭状地盤補強工法	○	○	○		
	特殊工法				○	
	その他				○	

■ 考察

当調査地は土地条件図により「台地」上に位置していることを確認しております。
全測点を比較した際、主に回転層であり均一な層が形成されていることから、比較的安定している地盤であると推測されます。その結果、建物荷重による不同沈下の可能性は低いと思われます。
よって、当調査地は根入れ後、十分な転圧を施した後の『ベタ基礎仕様』で対応可能と思われます。

調査概要

1-1 調査目的

本調査は、計画敷地地盤における土質構成、並びに土質工学的性状を把握し安全かつ合理的な構造物の設計、施工に必要な資料を得る目的で実施する。

1-2 調査件名

KIS八王子市台町1-6

1-3 調査地住所

東京都八王子市台町二丁目84番13 外

1-4 調査日

2021年 12月 16日

1-5 調査方法

スクリーウエイト貫入試験(JIS A 1221)

調査数量

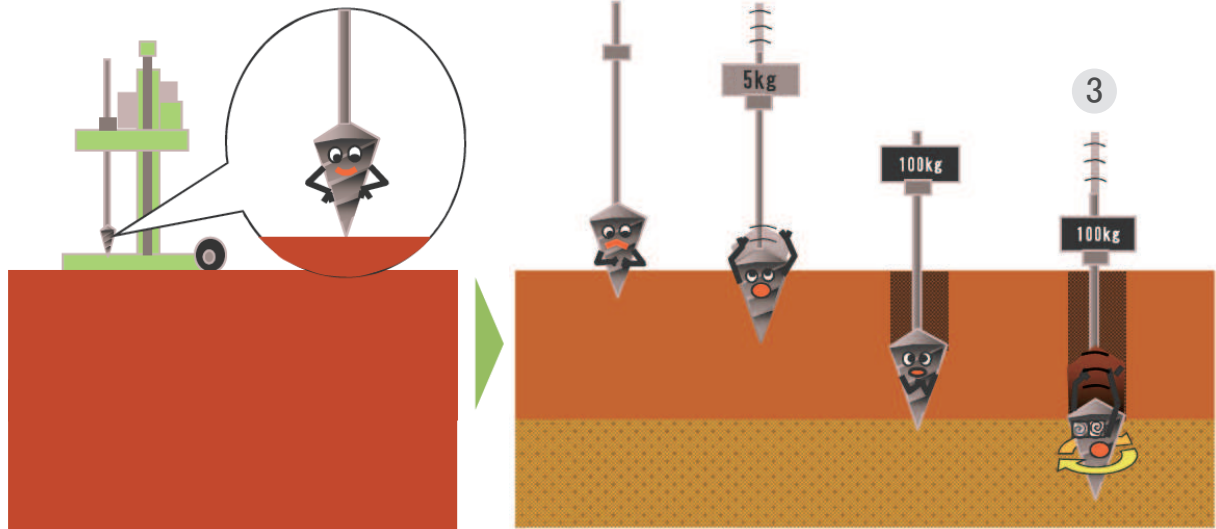
5測点

1-6 調査地



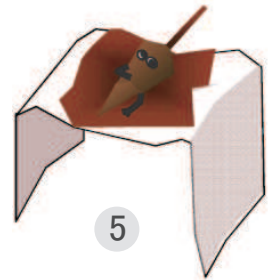
調査方法

a 調査方法解説



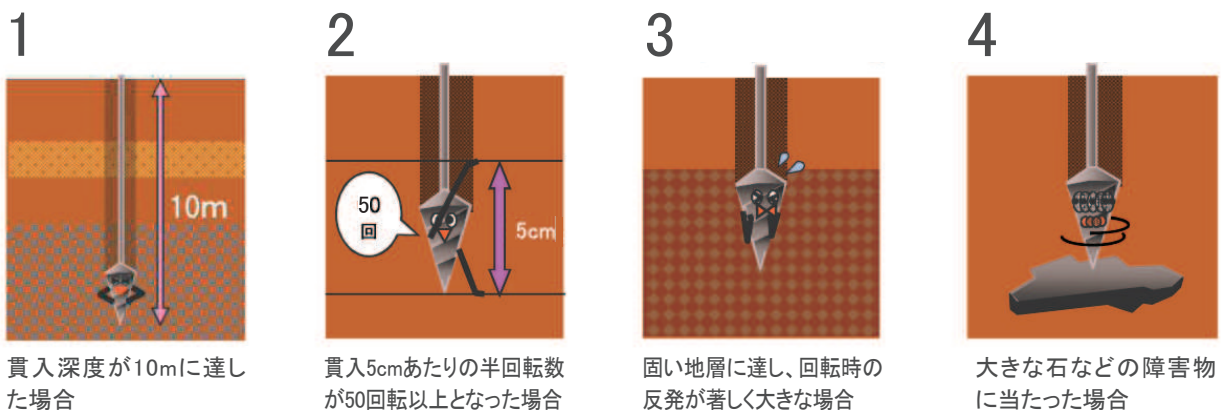
調査機:ジオカルテ(日東精工株式会社)

- 1 ロッドの先端にスクリーポイントを取り付け、調査ポイントに鉛直に設置します。
- 2 ロッドに5kgの荷重を掛け、スクリーポイントが地盤に沈むか確認します。沈まない場合、更に徐々に荷重を増やしていきます(5kg⇒15kg⇒25kg⇒50kg⇒75kg⇒100kg)。沈んだときの荷重と貫入した距離を記録します。
- 3 100kgでも貫入しない場合は、荷重は100kgのままロッドを右回りに回転させ、25cm貫入させるのに要する半回転数を測定し記録します。
- 4 測定中はロッドから伝わる音や感触も記録します。
- 5 測定終了後、ロッドを引き抜き、付着している土の状態や異常の有無を調べます。



b 試験終了条件

以下の条件を満たした場合は、その深度で試験を終了します。



調査方法

C 試験結果の記録と整理

- 1 荷重によって貫入が進む場合には、荷重の大きさ(W_{sw})とスクリーポイント先端の地表面からの貫入深さ(D)を記録し、そのときの貫入量を求める。
- 2 荷重1kNで、回転によって貫入が進む場合には、半回転数(N_a)に対応する貫入後のスクリーポイント先端の地表面から貫入深さを記録し、そのときの貫入量(L)を記録する。
- 3 貫入量に対応する半回転数は、次の式を用いて貫入量1m 当たりの半回転数(N_{sw}) に換算して記録する。
($L=25\text{cm}$ の場合) $N_{sw}=4N_a$ (半回転数1m)
- 4 貫入速度が急激に増大したり減少する場合には、貫入状況を記録する。
- 5 試験結果は荷重、半回転数、貫入量1m 当たりの半回転数および試験状況に関する記事を記録する。

d 結果の整理

- 1 N値の算定(換算N値)

推定土質により下記式にてN値を算定する。

砂質土・礫質土	$N = 2W_{sw} + 0.067N_{sw}$	} 稲田式(「地盤調査の方法と解説」:地盤工学会)
粘性土	$N = 3W_{sw} + 0.050N_{sw}$	
W_{sw} : 載荷荷重(kN)		
N_{sw} : SWS試験における1.00mあたりの半回転数(回)		

- 2 長期許容支持力度の算定

$$q_a = 30W_{sw} + 0.6N_{sw} \cdots \text{建築物の構造関係技術基準解説書:国土交通省住宅局他監修}$$

q_a 長期許容支持力度(kN/m^2)
$\overline{N_{sw}}$: 基礎下2.00mの範囲の平均 N_{sw} ※150を超える場合は150とする。
$\overline{W_{sw}}$: 基礎下2.00mの範囲の平均 W_{sw}

推定土質が複数になる場合は、各土質の層厚において N_{sw} を算定。算定した N_{sw} の内、最小値を採用する。

現地調査（敷地内調査）



既存資料	周辺調査データ	SWSデータ	■あり	□なし	ボーリングデータ	□あり	■なし
	地図データ	地形図	■あり	□なし	旧地形図	■あり	□なし
	地形・地質データ	地形分類図	■あり	□なし	表層地質図	■あり	□なし

地形観察	周辺地形	地形区分	☐ 丘陵地 ☒ 台地 ☐ 段丘 ☐ 平坦化地 ☐ 崖錘 ☐ 扇状地 ☐ 扇状地性低地 ☐ 自然堤防 ☐ 砂州 ☐ 砂丘 ☐ 後背湿地 ☐ 谷底低地 ☐ 氾濫平野 ☐ 旧河道 ☐ 三角州 ☐ 湿地 ☐ 海岸平野 ☐ 干拓地 ☐ 盛土地 ☐ 埋立地 ☐ 浅い谷 ☐ 斜面 ☐ 人工地盤 ☐ その他
	地形位置		☐ 頂上部 ☐ 中腹部 ☐ 傾斜部 ☐ 裾部 ☒ 平坦部
	水路・河川		☒ 水路・河川なし ☐ 水路・河川あり（ 調査地より0m付近に幅0mの河川・水路 ）

敷地内観察	敷地履歴	現状	☐ 整地 ☐ 既成宅地 ☐ 不整地の原野 ☐ 水田 ☐ 畑 ☐ 山林 ☐ 雑木林 ☒ 造成地 ☐ 解体後の更地 ☐ 解体中 ☐ 造成中 ☐ 駐車場 ☐ その他
		前歴	☒ 既成宅地 ☐ 原野 ☐ 水田 ☐ 畑 ☐ 山林 ☐ 雑木林 ☐ 崖地 ☐ 河川敷 ☐ 河川 ☐ 池沼 ☐ 工場 ☐ 駐車場 ☐ その他
	造成状況	盛土の有無	☐ 盛土なし ☒ 盛土あり（ ☐ 1m未満 ☒ 1m以上 ☐ 2m以上 ☐ 切土・盛土が混在 ）
		切土の有無	☒ 切土なし ☐ 切土あり（ ☐ 全面切土 ☐ 切土・盛土が混在 ）
		擁壁の有無	☒ 擁壁なし ☐ 擁壁あり （ ☐ -2m以上 ☐ -1m以上 ☐ -1m未満 ☐ +1m未満 ☐ +1m以上 ☐ +2m以上 ☐ その他 ）
		盛土経過年数	☐ 盛土なし ☒ 盛土あり （ ☐ 1年未満 ☐ 1年～3年未満 ☐ 3年～5年未満 ☐ 5年以上 ☐ 10年以上 ☒ 不明 ）
		新規盛土の予定	☒ なし ☐ あり（ ☐ 1m未満 ☐ 1～2m未満 ☐ 2m以上 ）
		地表面の起伏	☒ 平坦 ☐ 起伏 ☐ 傾斜 ☐ その他
		地表面の状況	☒ 更地 ☐ 雑草 ☐ コンクリート敷 ☐ 砂利敷 ☐ 芝生 ☐ アスファルト ☐ 田んぼ ☐ 畑 ☐ その他
		表土状態	☐ 乾 ☒ 湿 ☐ 硬 ☐ 軟 ☐ 極軟 ☐ その他
	既存建物状況	既存建物	☒ なし ☐ あり（ 築年数 年 ）
		既存地下車庫	☒ なし ☐ あり（ ☐ 壁面亀裂 ☐ スラブ亀裂 ☐ その他 ）
		建物構造	☐ なし ☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ RC造 ☐ その他
		階数	☐ なし ☐ 平屋 ☐ 2階建て ☐ 3階建て ☐ その他
		建物基礎の亀裂	☒ 亀裂なし ☐ 亀裂あり（ ☐ 少ない ☐ 多い ）
		建物外壁の亀裂	☒ 亀裂なし ☐ 亀裂あり（ ☐ 少ない ☐ 多い ）
		建物の異常	☒ 異常なし ☐ 異常あり

施 工	施工支援	搬入障害	☒ なし ☐ あり（ ☐ 道路幅狭い ☐ カーブきつい ☐ クレーン必要 ☐ その他 ）
		表層地盤状況	☒ 異常なし ☐ 異常あり（ ☐ 表層軟弱 ☐ 雨天時は注意 ☐ その他 ）
		現場内高低差	☒ なし ☐ あり （ ☐ -2m以上 ☐ -1m以上 ☐ -1m以内 ☐ -0.5m以内 ☐ +0.5m以内 ☐ +1m以内 ☐ +1m以上 ☐ +2m以上 ☐ その他 ）
		電線の有無	☒ なし ☐ あり（ ☐ 部分的に障害になる ☐ 敷地内全体に障害になる ）
		スペース	☒ なし ☐ あり（ ☐ ヤード狭い ☐ 構造物あり ☐ 駐車スペースなし ☐ その他 ）
		その他	☒ 現調不要 ☐ 現調必要 ☐ その他

備 考	
-----	--

2021/12/16 07:13:49.0 N(3538.98043) E(13919.26243) 	2021/12/16 07:13:42.0 N(3538.98173) E(13919.26485) 
東側状況1 N3538.9804 E13919.2624 (N35° 38' 58.82" E139° 19' 15.74")	東側状況2 N3538.9817 E13919.2648 (N35° 38' 58.9" E139° 19' 15.89")

隣接地状況	高低差	☒ なし ☐ あり (☐ -5m以上 ☐ -2m以上 ☐ -1.5m以上 ☐ -1m以上 ☐ -1m未満 ☐ +1m未満 ☐ +1m以上 ☐ +1.5m以上 ☐ +2m以上 ☐ +5m以上)
	境 界	☐ なし ☐ 法面 ☐ 擁壁 ☒ ブロック ☐ 金網 ☐ 生垣 ☐ U字溝 ☐ L型側溝 ☐ 歩道 ☒ 境界杭 ☐ その他
	隣地種別	☒ 宅地 ☐ 店舗 ☐ 既存建物 ☐ 更地 ☐ 駐車場 ☐ 道路 ☐ 水田 ☐ 畑 ☐ 雑木林 ☐ 果樹園 ☐ 河川 ☐ 水路 ☐ 池沼 ☐ 原野 ☐ 造成地 ☐ その他

擁壁状況	擁壁の種類	☒ なし ☐ あり (☐ RC造 ☐ PC造 ☐ CB造 ☐ 間知ブロック ☐ 間知石 ☐ 大谷石 ☐ 玉石 ☐ 増積 ☐ 万年塀 ☐ その他)
	擁壁の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ クラック ☐ 膨み ☐ 染み出し ☐ 水抜き孔 ☐ その他)
	水抜き孔	☒ なし ☐ あり

建物状況	建物の有無	☐ なし ☒ あり (☒ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ RC造 ☐ その他)
	建物の階数	☐ なし ☒ あり (☐ 平屋 ☒ 2階建て ☐ 3階建て ☐ その他)
	建物の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ 基礎クラック ☐ 外壁クラック ☐ 建具不良 ☐ その他)

道路状況	道路の有無	☒ なし ☐ あり
	道路の種類	☒ なし ☐ あり (☐ 舗装 ☐ 未舗装) 有効道路幅員(m)
	道路の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 亀裂 ☐ 凹凸 ☐ 段差 ☐ その他)

備 考	
-----	--

2021/12/16 07:13:57.0 N(3538.98075) E(13919.26265) 	2021/12/16 07:21:27.0 N(3538.97527) E(13919.25956) 
西側状況1	西側状況2
N3538.9808 E13919.2627 (N35° 38' 58.85" E139° 19' 15.76")	N3538.9753 E13919.2596 (N35° 38' 58.52" E139° 19' 15.58")

隣接地状況	高低差	☒ なし ☐ あり (☐ -5m以上 ☐ -2m以上 ☐ -1.5m以上 ☐ -1m以上 ☐ -1m未満 ☐ +1m未満 ☐ +1m以上 ☐ +1.5m以上 ☐ +2m以上 ☐ +5m以上)
	境界	☐ なし ☐ 法面 ☐ 擁壁 ☒ ブロック ☐ 金網 ☐ 生垣 ☐ U字溝 ☐ L型側溝 ☐ 歩道 ☒ 境界杭 ☐ その他
	隣地種別	☐ 宅地 ☐ 店舗 ☐ 既存建物 ☐ 更地 ☐ 駐車場 ☐ 道路 ☐ 水田 ☐ 畑 ☐ 雑木林 ☐ 果樹園 ☐ 河川 ☐ 水路 ☐ 池沼 ☐ 原野 ☒ 造成地 ☐ その他
擁壁状況	擁壁の種類	☒ なし ☐ あり (☐ RC造 ☐ PC造 ☐ CB造 ☐ 間知ブロック ☐ 間知石 ☐ 大谷石 ☐ 玉石 ☐ 増積 ☐ 万年堀 ☐ その他)
	擁壁の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ クラック ☐ 膨み ☐ 染み出し ☐ 水抜き孔 ☐ その他)
	水抜き孔	☒ なし ☐ あり
建物状況	建物の有無	☒ なし ☐ あり (☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ RC造 ☐ その他)
	建物の階数	☒ なし ☐ あり (☐ 平屋 ☐ 2階建て ☐ 3階建て ☐ その他)
	建物の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ 基礎クラック ☐ 外壁クラック ☐ 建具不良 ☐ その他)
道路状況	道路の有無	☒ なし ☐ あり
	道路の種類	☒ なし ☐ あり (☐ 舗装 ☐ 未舗装) 有効道路幅員(m)
	道路の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 亀裂 ☐ 凹凸 ☐ 段差 ☐ その他)
備考		

2021/12/16 07:21:47.0 N(3538.97922) E(13919.25967) 	2021/12/16 07:22:01.0 N(3538.97609) E(13919.25829) 
南側状況1	南側状況2
N3538.9792 E13919.2597 (N35° 38' 58.75" E139° 19' 15.58")	N3538.9761 E13919.2583 (N35° 38' 58.57" E139° 19' 15.5")

隣接地状況	高低差	☒ なし ☐ あり (☐ -5m以上 ☐ -2m以上 ☐ -1.5m以上 ☐ -1m以上 ☐ -1m未満 ☐ +1m未満 ☐ +1m以上 ☐ +1.5m以上 ☐ +2m以上 ☐ +5m以上)
	境界	☐ なし ☐ 法面 ☐ 擁壁 ☐ ブロック ☐ 金網 ☐ 生垣 ☒ U字溝 ☐ L型側溝 ☐ 歩道 ☒ 境界杭 ☐ その他
	隣地種別	☐ 宅地 ☐ 店舗 ☐ 既存建物 ☐ 更地 ☐ 駐車場 ☒ 道路 ☐ 水田 ☐ 畑 ☐ 雑木林 ☐ 果樹園 ☐ 河川 ☐ 水路 ☐ 池沼 ☐ 原野 ☐ 造成地 ☐ その他

擁壁状況	擁壁の種類	☒ なし ☐ あり (☐ RC造 ☐ PC造 ☐ CB造 ☐ 間知ブロック ☐ 間知石 ☐ 大谷石 ☐ 玉石 ☐ 増積 ☐ 万年塀 ☐ その他)
	擁壁の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ クラック ☐ 膨み ☐ 染み出し ☐ 水抜き孔 ☐ その他)
	水抜き孔	☒ なし ☐ あり

建物状況	建物の有無	☒ なし ☐ あり (☐ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ RC造 ☐ その他)
	建物の階数	☒ なし ☐ あり (☐ 平屋 ☐ 2階建て ☐ 3階建て ☐ その他)
	建物の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ 基礎クラック ☐ 外壁クラック ☐ 建具不良 ☐ その他)

道路状況	道路の有無	☐ なし ☒ あり
	道路の種類	☐ なし ☒ あり (☒ 舗装 ☐ 未舗装) 有効道路幅員 (6.0 m)
	道路の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 亀裂 ☐ 凹凸 ☐ 段差 ☐ その他)

備考	
----	--

2021/12/16 07:21:51.0 N(3538.97909) E(13919.25996) 	2021/12/16 07:13:38.0 N(3538.98138) E(13919.26477) 
北側状況1	北側状況2
N3538.9791 E13919.2600 (N35° 38' 58.75" E139° 19' 15.6")	N3538.9814 E13919.2648 (N35° 38' 58.88" E139° 19' 15.89")

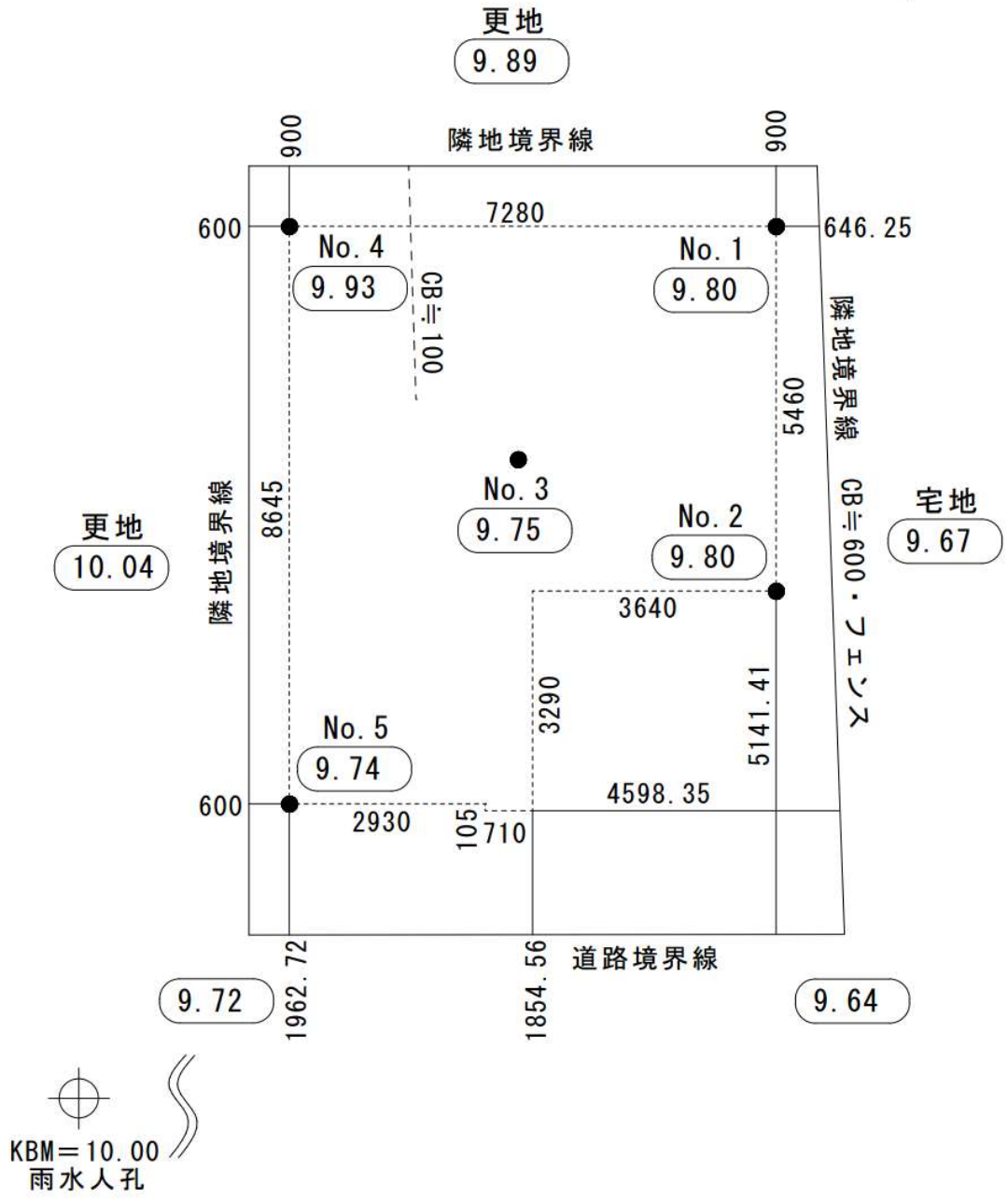
隣接地状況	高低差	☒ なし ☐ あり (☐ -5m以上 ☐ -2m以上 ☐ -1.5m以上 ☐ -1m以上 ☐ -1m未満 ☐ +1m未満 ☐ +1m以上 ☐ +1.5m以上 ☐ +2m以上 ☐ +5m以上)
	境 界	☐ なし ☐ 法面 ☐ 擁壁 ☒ ブロック ☐ 金網 ☐ 生垣 ☐ U字溝 ☐ L型側溝 ☐ 歩道 ☒ 境界杭 ☐ その他
	隣地種別	☒ 宅地 ☐ 店舗 ☐ 既存建物 ☐ 更地 ☐ 駐車場 ☐ 道路 ☐ 水田 ☐ 畑 ☐ 雑木林 ☐ 果樹園 ☐ 河川 ☐ 水路 ☐ 池沼 ☐ 原野 ☐ 造成地 ☐ その他

擁壁状況	擁壁の種類	☒ なし ☐ あり (☐ RC造 ☐ PC造 ☐ CB造 ☐ 間知ブロック ☐ 間知石 ☐ 大谷石 ☐ 玉石 ☐ 増積 ☐ 万年塀 ☐ その他)
	擁壁の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ クラック ☐ 膨み ☐ 染み出し ☐ 水抜き孔 ☐ その他)
	水抜き孔	☒ なし ☐ あり

建物状況	建物の有無	☐ なし ☒ あり (☒ 木造 ☐ 鉄骨造 ☐ RC造 ☐ その他)
	建物の階数	☐ なし ☒ あり (☐ 平屋 ☒ 2階建て ☐ 3階建て ☐ その他)
	建物の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 沈下 ☐ 傾斜 ☐ 基礎クラック ☐ 外壁クラック ☐ 建具不良 ☐ その他)

道路状況	道路の有無	☒ なし ☐ あり
	道路の種類	☒ なし ☐ あり (☐ 舗装 ☐ 未舗装) 有効道路幅員(m)
	道路の異常	☒ なし ☐ あり (☐ 亀裂 ☐ 凹凸 ☐ 段差 ☐ その他)

備 考	
-----	--



GeoSign

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります

GeoSign

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります

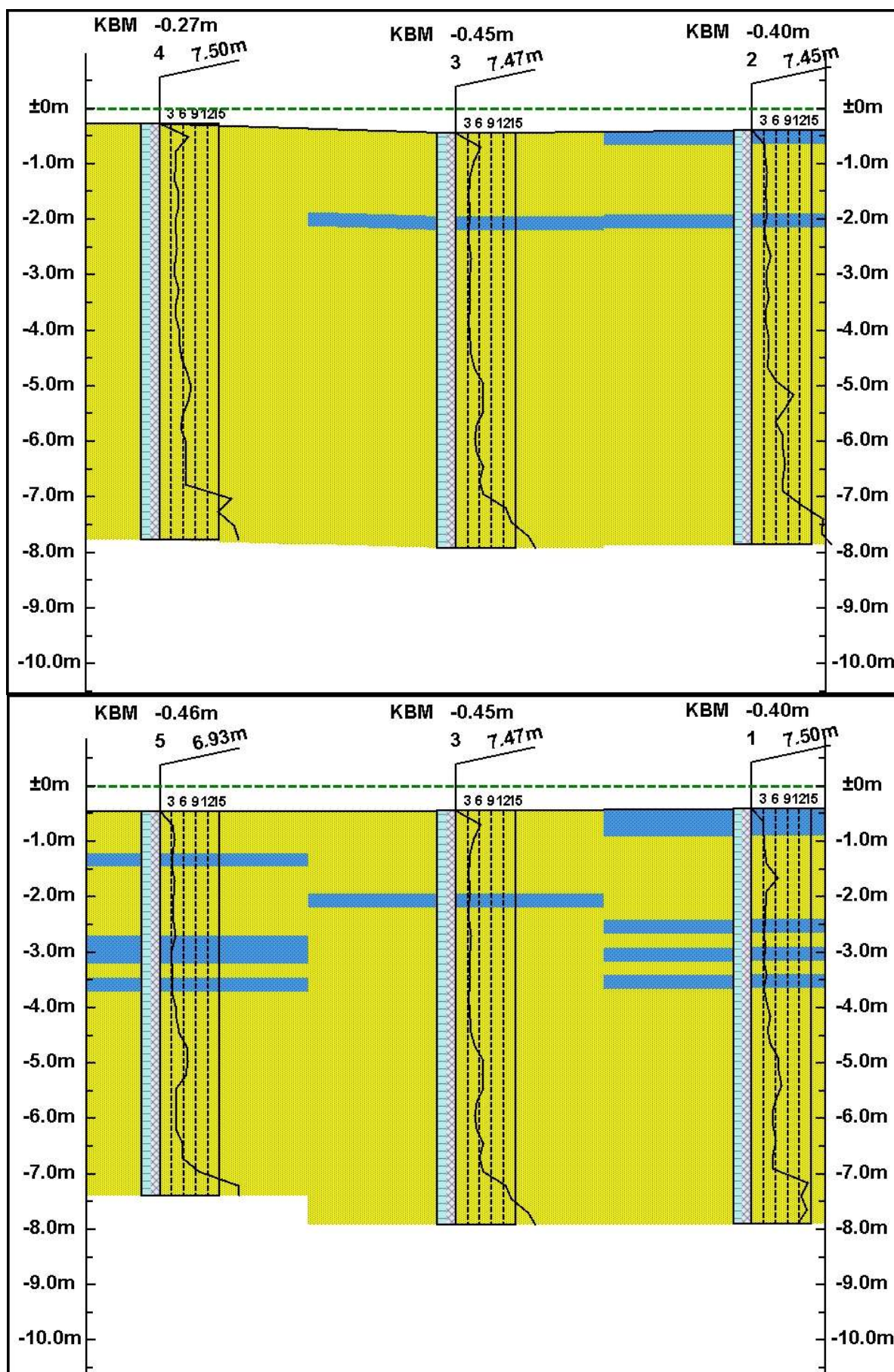
GeoSign

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります

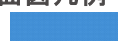
GeoSign

※ 太枠内のデータが電子認証対象となります

推定断面図



断面図凡例



自沈層



回転層



設計GL



調査地全景

N3538.9735 E13919.2590
(N35° 38' 58.41" E139° 19' 15.54")



前面道路1

N3538.9736 E13919.2586
(N35° 38' 58.42" E139° 19' 15.52")



KBM確認

N3538.9746 E13919.2509
(N35° 38' 58.48" E139° 19' 15.05")



測点1

N3538.9819 E13919.2629
(N35° 38' 58.91" E139° 19' 15.77")



測点2

N3538.9851 E13919.2671
(N35° 38' 59.11" E139° 19' 16.03")



測点3

N3538.9780 E13919.2613
(N35° 38' 58.68" E139° 19' 15.68")

